

第19回日本免疫治療学会学術大会 一般演題採択一覧

演題登録番号	発表番号	筆頭演者	演題名
1001	P-01	征矢 良子	Irreversible electroporation(IRE)が腫瘍免疫に及ぼす影響に関する検討
1008	P-02	森 勇貴	NK細胞Killing Assayにおけるイメージングとディープラーニングの活用
1013	P-03	羽馬 直希	マクロファージを基軸とした腫瘍免疫構築メカニズムにおける新知見
1016	P-04	小林 由香利	シングルセルRNA-seqとTCR-seq解析を用いたネオアンチゲン特異的TCRの同定パイプラインの開発
1017	P-05	今岡 洸輝	動脈硬化が肝内在性ナチュラルキラー細胞の抗腫瘍活性を低下させる
1018	P-06	鈴木 利宙	ヒトHLA発現マウスを用いた抗原性評価によるネオアンチゲン予測アルゴリズムの改良と個別化ペプチドワクチンへの応用
1019	P-07	加藤 大悟	転移性腎細胞癌患者における免疫チェックポイント阻害剤投与によるirAEと抗腫瘍効果メカニズムの解明
1020	P-08	尾上 隆司	腫瘍微小環境における腫瘍血管内皮細胞の腫瘍免疫抑制メカニズムの解析
1021	P-09	志智 俊介	同所性肝がんモデルの抗腫瘍免疫における脂質メディエーター変換酵素DGK $\zeta$ の新規制御メカニズム解明
1024	P-10	北村 秀光	機能性マイクロRNAによるヒト免疫体質の制御と個別化がん免疫治療への応用
1026	P-11	小室 裕康	非小細胞性肺癌におけるネオ抗原および癌・精巢抗原特異的なCD8+T細胞集団と腫瘍抗原同定のためのSingle Cell解析を活用したアプローチ
1030	P-12	福山 隆	KK-LC-1特異的TCR導入 $\gamma\delta$ T細胞による肺がん細胞に対する養子免疫療法の開発
1003	P-13	染谷 正則	血中エクソソームmiRNAを用いた子宮頸癌の治療効果予測
1006	P-14	村田 陽介	肝癌複合免疫療法における末梢血循環腫瘍細胞の幹細胞マーカーに基づく治療効果の検討
1007	P-15	松村 聡一	ニボルマブ治療前の治療前転移巣成長率は転移性腎癌の予後予測因子となる
1011	P-16	手島 太郎	進行尿路上皮癌患者におけるPD-1阻害薬Pembrolizumab投与による末梢血中の免疫細胞の変動に対する多変量解析
1012	P-17	大藤 和也	ICI治療後の免疫関連有害事象発症と予後との関連性についての検討
1022	P-18	武藤 哲史	肺癌における $\beta$ -cateninによる免疫逃避と、薬物療法が与える影響
1025	P-19	須磨崎 真	Serological detection of breast cancer with multi-panel assay of 17 tumor-associated antibodies
1027	P-20	佐藤 靖祥	胃がんにおけるニボルマブ投与前後の統合的免疫ゲノム解析によるバイオマーカーの同定
1028	P-21	瀧本 理修	術後補助療法として免疫細胞治療を実施した固形癌症例に関する予後の検討
1029	P-22	黒瀬 浩史	肺がん免疫チェックポイント療法の効果を予測する血清バイオマーカーの開発
1002	P-23	吉本 由哉	アブスコパル効果が認められたニボルマブ不応食道癌の一例
1023	P-24	松村 勇輝	ペムブロリズマブ単回投与にて4年間完全寛解を維持している肺大細胞神経内分泌癌の術後再発の一例
1004	P-25	長谷川 巧	全身性强皮症の新規治療法：皮膚硬化型慢性GVHDマウスモデルにおける抗フラクタルカイン抗体の治療効果
1010	P-26	内田 沙織	潰瘍性大腸炎に対するTNF- $\alpha$ 阻害薬投与中に生じたBazin硬結性紅斑の1例
1009	P-27	張 雲翔	三次元自動灌流培養法によるiPS細胞由来ナチュラルキラー細胞の大量製造方法の開発
1015	P-28	鎌谷 智紀	マウス皮膚移植モデルを用いたMHC型一致マイナー抗原不一致iPS細胞移植の免疫抑制プロトコールの構築
1031	P-29	前田 努	当社細胞加工法で培養した脂肪由来間葉系幹細胞の解析結果報告
1005	P-30	齊藤 太郎	新型コロナウイルスに対する細胞性免疫のハイスループットな検査法の開発
1014	P-31	布矢 純一	Herpes virus entry mediator由来共刺激シグナル配列を有するキメラ抗原受容体発現T細胞(CAR-T細胞)は疲弊抵抗的な性状を示す